

## 地域保健・医療

### 一般目標

少子高齢化、社会の複雑化にともない患者、高齢者に全人的な対応、診療を行うために、地域保険医療、介護福祉医療を理解する。そのために保健所の役割として健康診断を含めた健康増進を実践する。老人保健施設の内容を理解し、その制度を医療と結びつけて実践する。診療所に求められる、かかりつけ医としての機能を理解し、プライマリーケアを実践する。またどのように専門医に紹介していくのかも心得なければならない。へき地、離島医療にも関心を向け現状を理解しなければならない。

### 行動目標

1. 結核・感染・難病の患者を受け持ち相談・訪問に参画する。
2. リハビリテーション・医療・保健指導等に従事する。
3. 乳幼児検診・がん検診・基本健康診断・機能回復教室等に参加し理解する。
4. 地域保健・医療・福祉・安全等の行動計画案策定等に参画する。
5. 地域・学校・職域の健診に従事する。
6. 有所見者の精密健康診査や保健指導に従事する。
7. 栄養指導・生活指導・禁煙指導等に参画する。
8. 健康情報を活用して個人や集団のリスク評価・健康度評価・健康指標作成を行う
9. 地域の福祉資源と活動を理解し、会議や支援活動に参加する。
11. 家族・介護者・介護保険施設従事者との相談等の活動を理解する。
12. 在宅医療・福祉の場を訪問し医師として助言等をする。
13. 介護保険制度を理解し医学的見地から種々の介護福祉に参加する
14. かかりつけ医の役割を理解する
15. プライマリーケア医として専門医への紹介を理解する
16. へき地や離島の診療所について理解を深め、地域社会の健康と緊急時の対応を実践する。